



すずかけクリニック

てんかんセンター巡り 第13回

愛知てんかんセンター

施設概要

【代表】医療法人福智会 すずかけクリニック

- 住 所 〒464-0850 愛知県名古屋市中種区今池五丁目 19-12
- 電 話 052-731-8300
- ホームページ <http://www.suzukake-clinic.com/>

愛知医科大学病院(精神神経科)

- 住 所 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1-1
- 電 話 0561-62-3311
- ホームページ <http://www.aichi-med-u.ac.jp/hospital/>



愛知医科大学病院

名古屋大学医学部附属病院(脳神経外科)

- 住 所 〒466-0065 愛知県名古屋市中昭和区鶴舞町 65
- 電 話 052-741-2111
- ホームページ <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>



名古屋大学医学部附属病院

日本てんかん学会	医療法人福智会 すずかけクリニック	1名
専門医・指導医	愛知医科大学病院 精神神経科	3名

施設の取り組みと役割

愛知県では、医療法人福智会すずかけクリニック（精神科診療所）、愛知医科大学病院精神神経科、名古屋大学附属病院脳神経外科の3施設が連携し、「愛知てんかんセンター」として成人を対象としたてんかん治療に取り組んでいます。

すずかけクリニックでは、通常のてんかん外来診療のほか、併設の精神科デイケアや地域活動支援センター、グループホーム、精神科訪問看護部門、ケーキ屋として運営している就労支援事業所でもてんかん患者さんの日常生活や社会生活のサポートを行っています。

愛知医科大学では、週に2日てんかん外来を設けており、訪れるてんかん患者さんが精神神経科外来全体の約5%を占めています。両施設では、てんかんに伴う精神症状の治療も積極的に行っています。

名古屋大学は、最先端の術中ナビゲーションや術中MRIといった高度画像誘導手術機器を完備する国内有数の機関で、これらを駆使し正確で安全な手術を行うことが可能で、麻酔科との連携により覚醒下手術という高度な技術を用いた治療もできる体制です。今後は、迷走神経刺激術などの新しい方法も数多く行っていく方針です。

特徴と実績

難治性てんかんに対する外科治療として、名古屋大学ではこれまで側頭葉てんかんに対する側頭葉切除術、海馬扁桃核切除術を中心に、焦点性てんかんに対する焦点切除術、視床下部過誤腫凝固術などを実施して

きました。頭部MRI、SPECT、PETといった機器に加え脳磁図、

脳波・MRI同時記録装置を有しており、多角的な術前評価を行って診断の精度を上げています。

また、昨年度は、32例の長時間ビデオ脳波モニタリングを実施し、小児神経グループをはじめ複数の科が協力し、検討と診断を行ってきました。

精神科領域では、発作の治療だけでなくそれに付随し認知機能障害や対人関係など社会的スキルの問題、就労や地域生活での課題を抱えるてんかん患者さんの、心理社会的支援に積極的に取り組んできたことが特徴です。発作が止まっていなくとも親元を離れ一人暮らしをしたい、仕事に就きたいという方々の希望に応えられるよう、「リハビリ」の考えに沿ったサポートを、すずかけクリニックの関連施設で行っています。

このように、複数の医療機関がひと組となり機能していることが、愛知てんかんセンターの最大の特色です。現在は月に1回の症例検討会を開催しており、センターに所属する医療機関同士で情報共有をし、医師および職員のスキルアップも図っています。異なる医療機関が連携することで、患者さんに対し、多面的な視点から診断と治療を行い、各施設の特長や強みを活かして対応することで、患者さんひとりひとりが自分らしく人生を送れる支えとなることが、愛知てんかんセンターの目指すところです。

（医療法人福智会 すずかけクリニック
院長 福智 寿彦）

